

港湾振興特別委員会

日 時 令和元年9月26日(木)

午前10時から

場 所 全員協議会室

議 題

1 報告事項

・世界で最も美しい湾クラブ世界総会 in 富山について(港湾・観光課 資料1)

2 行政視察報告

3 その他

「世界で最も美しい湾クラブ」



世界総会in富山 **日本初** 開催

2019年10月、富山湾が「世界で最も美しい湾クラブ」加盟5周年を迎える節目に、日本初となる湾クラブ世界総会が富山県で開催されます。湾クラブ世界総会には、世界各国(26か国と1地域)から、欧米、アジアなど多数の外国人が来県されることから、世界に向け、「日本・富山県」の自然環境、歴史・文化・新鮮な富山湾の幸など本県の多彩な魅力や環境保全等の取組みを広く発信する絶好の機会となります。

「世界で最も美しい湾クラブ」世界総会in富山の開催概要



- 開催期間: 2019年10月16日(水)～20日(日)
- 場 所: 富山国際会議場、ANAクラウンプラザホテル富山など
- 主 催: 富山県、「世界で最も美しい湾クラブ」2019年 富山県総会開催実行委員会
- 協 力: 美しい富山湾クラブ
- 参加者数: 100名～130名程度

日程	内容	場所
10/16(水)	<ul style="list-style-type: none"> 午前 湾クラブ総会開会 午後 富山県美術館、富岩運河環水公園視察 夜 歓迎晩餐会 	富山国際会議場 富山市内 ANAクラウンプラザホテル富山
10/17(木)	<ul style="list-style-type: none"> 午前 湾クラブ総会 午後 道の駅「雨晴」視察、雨晴海岸の散策、富山市内視察(富岩水上ライン乗船(中島閘門→環水公園)) 	富山国際会議場 高岡市内 富山市内
10/18(金)	<ul style="list-style-type: none"> 終日 湾クラブ総会 	富山国際会議場
10/19(土)	<ul style="list-style-type: none"> 午前 湾クラブ加盟5周年記念行事 午後 新湊漁港屋セリ準備風景見学 海王丸パークでの各種イベント ○新湊曳山の披露・見学 ○総会参加者によるパレード ○「帆船海王丸」豊帆作業見学 ○漁船パレード見学 ○記念植樹 ○富山湾等魅力映像鑑賞・小休憩(in線のパーゴラ) ○サンセットクルージングなど 夜 総会閉会式、フェアウェル・パーティー 	富山国際会議場 新湊漁港 海王丸パーク ANAクラウンプラザホテル富山
10/20(日)	<ul style="list-style-type: none"> 終日 県内エクスカージョン(5コース設定) ①立山・滑川・富山エリア ②新川エリア1 ③新川エリア2 ④高岡・氷見エリア⑤南砺・砺波エリア 終了後 解散 	県内各地

1. 開催概要

日 時 : 10月19日(土) 14:25-17:40

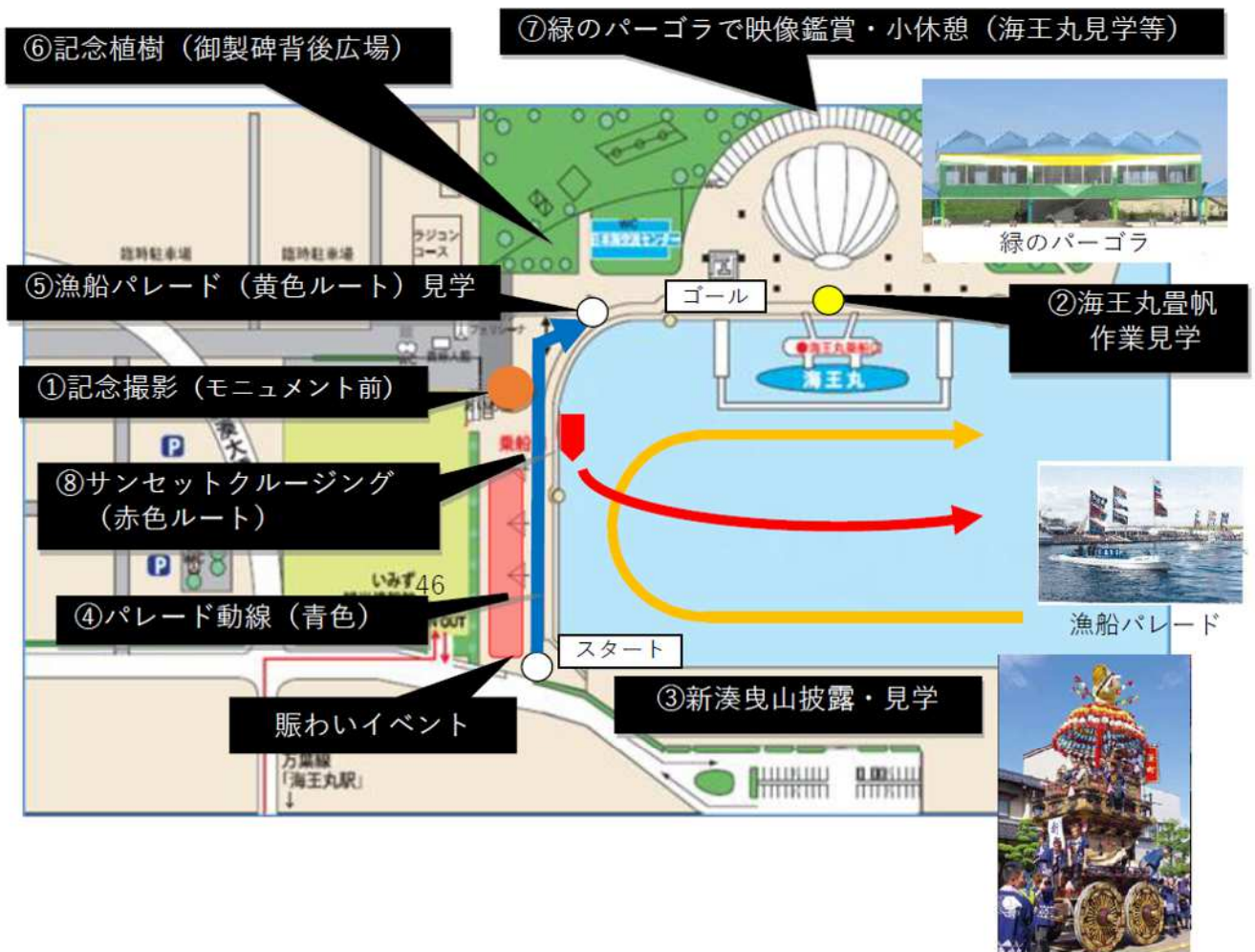
会 場 : 海王丸パーク

参加人数: 湾クラブ約120名、一般参加者5,000名(予定)

2. スケジュール

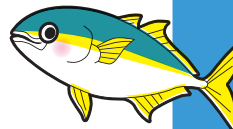
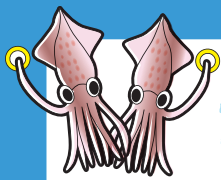
時間	Lap	内 容
14:25-14:35	10分	①記念撮影
14:35-14:40	5分	移動
14:40-14:50	10分	②海王丸畳帆作業見学
14:50-15:00	10分	移動
15:00-15:30	30分	③新湊の曳山全13基披露・見学
15:30-15:35	5分	移動
15:35-15:45	10分	④湾クラブメンバーによるパレード
15:45-15:50	5分	移動・準備
15:50-16:00	10分	⑤漁船パレード見学
16:00-16:15	15分	⑥記念植樹
16:15-16:20	5分	移動
16:20-16:45	25分	⑦緑のパーゴラでの富山湾等魅力映像鑑賞・小休憩
16:45-16:55	10分	移動・乗船
16:55-17:40	45分	⑧サンセットクルージング 海王丸パーク~新湊マリーナ ※3つの観光船に分かれて順次出発
17:40-18:25	45分	移動・バス 新湊マリーナ→ANAクラウンプラザホテル富山

3. 動線



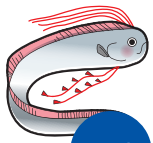
4. 各イベント概要

イベント	概要	所要時間
	<p>【記念撮影】 富山湾の湾クラブ加盟記念モニュメント前において、総会参加者全員で、海の貴婦人「帆船海王丸」や新湊大橋を背景に記念撮影（撮影用ポールを使用）。</p>	10分
	<p>【海王丸畳帆（じょうはん）作業見学】 総帆展帆終了後、ボランティアスタッフがマストに登り、協力して帆を畳む珍しい畳帆作業風景を海王丸船長による説明付きで見学。</p>	10分
	<p>【新湊曳山の披露・見学】 新湊曳山協議会の全面協力のもと、新湊曳山全13基が海王岸壁に勢揃い。最初に12基が海王岸壁に並び、残る1基が海王岸壁に入ってくる様子を見学できるよう演出を工夫。</p>	30分
	<p>【湾クラブ参加者全員によるパレード】 富山商業高校吹奏楽部のマーチングバンドによる先導と演奏のもと、来場者が拍手と湾クラブの手持ち旗で歓迎する中、総会参加者全員が加盟湾毎に分かれ、法被を着用し、各湾で用意した旗や配付した湾クラブの手持ち旗等を手に海王岸壁付近から芝生広場付近までの約250mを行進。</p>	10分
	<p>【漁船パレード見学】 新湊漁業協同組合の全面協力のもと、同組合所属の15隻の漁船が大漁旗を掲げ、富山商業高校吹奏楽部のマーチングバンドによる演奏のもと、海王丸パーク内の海上を順番にパレードし、湾クラブ参加者を歓迎。</p>	10分
	<p>【記念植樹】 湾クラブ世界総会の開催と富山湾の湾クラブ加盟5周年を記念し、全国豊かな海づくり大会(H27.10)の御製碑(H28.3建立)が設置されている背後の芝生広場において、ブジョルド湾クラブ理事長、石井知事をはじめ関係者による記念植樹（オオシマザクラ5本）を実施。</p>	15分
	<p>【富山湾等の魅力映像鑑賞・小休憩】 リニューアル後の休憩施設「緑のパーゴラ中央休憩所」において、新設の大型タッチパネルモニター（75インチ、4K対応）により、神秘の海・富山湾等の多彩な魅力を動画や写真等で総合的に紹介・発信するコンテンツを鑑賞。また、カウンターやテーブルで、窓越しの海王丸を眺めながらくつろぐ。</p>	25分
	<p>【サンセットクルージング】 県内3つの観光遊覧船（滑川・観光遊覧船「キラリン」、氷見遊覧船「若潮」、新湊観光船「万葉丸」）の全面協力のもと、総会参加者全員が海王丸パークから各船に分乗し、新湊マリーナまでのサンセットクルージングを楽しむ。</p>	45分



「世界で最も美しい湾クラブ」世界総会in富山

海王丸パークイベント開催



海王丸パークで「世界で最も美しい湾クラブ」世界総会の参加メンバーを歓迎するイベントを開催します。

参加無料
事前申込不要

日時

10月19日 土 11:00~17:15

会場

海王丸パーク

世界総会プログラム

▶14:40~14:50

帆船海王丸の畳帆作業見学

ボランティアスタッフがマストに登り帆を畳む珍しい作業風景を見学。



11:30~ 総帆展帆された海王丸の一般公開!

▶15:00~15:30

新湊曳山全13基の披露

新湊曳山全13基が海岸壁に勢揃い。15時から、曳山1基が岸壁に入ってくる様子を見学。



▶15:35~15:45

湾クラブ参加メンバーによるパレード

富山商業高校吹奏楽部のマーチングバンドの先導と演奏のもと、湾クラブ参加メンバー全員がパーク内をパレード。

手持ち旗で歓迎しよう!



手持ち旗は当日も作ることができます!

▶15:50~16:00

漁船パレード

新湊漁業協同組合所属の15隻の漁船が大漁旗を掲げ、海上を順番にパレード!



※16:00~17:15は総会プログラムを予定しています(湾クラブメンバーのみ参加)。

関連イベント

▶13:30~14:10

怪魚ハンター 小塚 拓矢 氏 トークショー&クイズ大会

世界50カ国以上を冒険し、巨大魚を釣り続けてきた「怪魚ハンター」小塚拓矢さん。危機一髪のドキドキ&ハラハラの冒険談に加えて、実は富山にも生息している怪魚について、クイズ形式で紹介します!



クイズに答えて「限定怪魚バッジ」をゲット!

▶11:00~16:00

親子ワークショップ

手持ち旗づくりや、オリジナル缶バッジづくりにチャレンジ!



▶11:00~16:00

フードコーナー

タピオカドリンク、クレープ、ベビーカステラ、ラーメン、唐揚げ、たこやき



▶1回目13:00~/2回目15:00~

鍋のふるまい [各回400食/先着順・無料]

新湊漁業協同組合女性部による魚のすり身鍋の提供。



▶11:00~16:00

子ども向け無料遊具

「大型ふわふわ」が海王丸パークにやってくる!



●アクセスマップ・イベント会場案内図

※駐車場に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

※写真はイメージです



※イベント当日は新湊曳山巡行のため、12:00~14:20頃と16:00~17:30頃は、海王丸パーク周辺の道路で交通整理を行っています。警備員の指示に従い、安全に走行してください。

注意事項

天候等の都合により、イベントの時間・内容を一部変更、又はすべて中止する場合があります。開催・中止の問合せ先:0180-99-1616(有料) ※前日10月18日(金)、当日19日(土)のみ対応。そのほかは下記の問合せ先まで。



令和元年度 港湾振興特別委員会「新潟方面」視察報告

港湾振興特別委員会
委員長 高橋 久和

視察先：8月8日（木）

国土交通省 北陸地方整備局
ミズベリング信濃川やすらぎ堤
新潟東港第2 東防波堤管理釣り場

8月9日（金）

島見緑地公園ドックラン
直江津港第3 東防波堤管理釣り場

【国土交通省 北陸地方整備局 視察概要】

毎年、国土交通省北陸地方整備局へは、港湾機能の整備・充実等に関する要望を提出しているが、議員が調査研究のため、直接訪れる機会は少ないのではないかと感じている。

そこで今回「釣り場整備における状況・整備について」及び「クルーズ船を取巻く状況について」の2点に関し、金丸佳介港湾空港部企画官（前、伏木富山港湾事務所長）をはじめとする幹部職員の方より説明を受け、その他「港湾機能の充実」という事で意見交換を行ったものである。

「釣り場整備における状況・制度について」

説明者：荒木 海洋環境・技術課長

北陸地方整備局管内では、全国で13港が指定された「釣り文化振興促進モデル港」に、新潟東港第2 東防波堤管理釣り場と直江津港第3 東防波堤管理釣り場の2箇所が指定を受け、2019年3月1日から11月30日までの期間において、「NPO法人 ハッピーフィッシング」がその管理をしており、地方創生を目的とした釣り文化振興の取り組みを進めるための「モデル港」に関しては、現在、二次募集中（令和2年2月中まで）であり、防波堤などの釣り利用について、どのようなことに留意し、多目的使用につなげていく必要があるのか？・・・といった「ガイドライン」の説明をお聞きした。

所感

防波堤など港湾施設内での釣り場については、港湾機能を妨げない事が大前提であり、加えて、防波堤などでの釣りに関する安全対策をしっかりと行い、利害関係者及び関係行政機関などで構成する協議会を設置するなどして、地域の合意形成を図る事が求められており、それなりの「時間」をかける必要があるのではないかと思った。

また、本市（富山新港周辺）における「釣り場」として、開港記念碑緑地や東港口護岸、南水路緑地及び東水路先端緑地の4箇所での釣りができる環境が整備されている。・・・との説明を受けたが、「釣り場」としての機能が本当に整っているのか？・・・調査・検討し、安全性の確保や景観上の対応等も含めた「整備状況」を再確認たうえで、更に防波堤などでの釣り場の確保が必要となれば、先の「協議会」等を設置し、関係の皆さんのご意見をお聞きしたうえで「地方創生を目的とした釣り文化振興」について検討すべきではないか？・・・と感じた次第であります。

「クルーズ船を取巻く状況について」

説明者：風間 港湾高度利用調整官

北陸地方整備局管内における「クルーズ船の寄港回数」は増加傾向にあり、2016年から金沢港発着「日本海定期周遊クルーズ」の開始が、その大きな要因と考えられる。

クルーズ船運航会社は、乗客の満足度向上のために「本物志向」や、その地だけでしか味わえない「特別感」を求め始めており、これまでの大型商業施設での「ショッピング」主流であった時代から脱却している状況である。・・・との説明を受けた。

所感

クルーズ船の誘致に関しては、地域の観光資源を活かした着地型や体験型の企画を立案し、それを船主（運航会社）に認めてもらえるような息の長い活動を続けることが大事だ。・・・と、改めて感じた。

「ミズベリンク信濃川やすらぎ堤」

【視察概要：現地視察のみ】

この事業は、(株)スノーピークの管理運営体制の下、「アウトドア」と「健康」をテーマに、統一感のある空間をデザインし、賑わいの創出に取り組んでいるもので、今回、我々は信濃川右岸の「Out Door Lounge」の視察を実施した。

所感

新潟まつり（8月9日～11日）の前日、それも視察途中のpm3:00過ぎという事で、オープンカフェ等の利用客は「疎ら」であったが、この「ミズベリンク」は信濃川の堤防脇までビル群が多くあることから、「平日は夕方ころから人足が増え、夕涼みがてらの人たちで賑わうのであろう。」・・・と、感じた。

「新潟東港第2東防波堤管理釣り場」

「直江津港第3東防波堤管理釣り場」と管理運営会社(NPO法人ハッピーフィッシング)が一緒であり、新潟東港は現地視察のみのため、概要及び所感は省略。

「新潟県立 島見緑地公園 ドックラン」

【視察概要：説明者：指定管理者 グリーン産業(株)岩野所長】

島見緑地公園は、新潟東港工業地帯の緩衝緑地として、総面積16.1ヘクタールの大型公園として整備された。

今回見学させて頂いたドックラン施設は、2012年にオープン。公園の指定管理者である「グリーン産業(株)」が管理運営を行っている。

岩野所長から・・・

ドックランの設置は、公園の利用促進として「新規利用者の獲得」を狙ったもので、一般の利用者と犬を飼う人との利用の「棲み分け」に留意した運営に努めており、年間の入場者数は平成25年度に1万人強だったものが、30年度では1万8千人余りに増加、利用登録者は島見緑地ドックランの「サポーター」として、施設の清掃、除草などのボランティア活動に参加してもらっている。・・・とのことである。

所感

岩野所長の説明において、ドックランの管理費は緑地の指定管理料の中から10万円ほどを捻出して運営している。・・・との説明があり、質疑の中で(ドックラン)施設を有料にすれば?・・・との問いに対し、この公園は(緩衝緑地としての性格上)原則無料であり、何がしかの料金を徴収すると、結果として利用者からの『要求』や『苦情』の声が強くなるため、ボランティアをお願いしており、利用者の方が「自らマナーを守り、施設の環境や運営を支えてもらう事で、利用者の協力のもとに成り立っている。」・・・と、自信を持って、応えられた事で、この施設の管理手法が読み取れたような気がした。

「直江津港第3東防波堤管理釣り場」

【視察概要 説明者：NPO法人ハッピーフィッシング 新保チーフ】

「新潟東港第2東防波堤管理釣り場」

「直江津港第3東防波堤管理釣り場」と「新潟東港第2東防波堤管理釣り場」の管理運営は、両方ともNPO法人ハッピーフィッシングが行っている。

同法人は、防波堤で釣りをを行う人たちに対し、施設を安全に利用できるための事業や利用促進の事業等を行う事により、「釣り文化の振興や釣り場での事故防止及び雇用機会の拡充を図り、地域経済の活性化に寄与する。」事を目的として設立されている。

直江津港では、防波堤の先端から460mが釣り場となっており、投げ釣り(5m)と餌釣り(3m)での釣り人の間隔を決め、入場者数の調整を図ると共に、ライフジャケットの着用を義務付けたり、入場者注意事項及び禁止事項を説明したうえで入場誓約書を作成してもらったりして、安全性を高めている。・・・との事であった。

この日も、管理事務所へ続く道路(片側駐車OK)には、長野ナンバーの車が多数あり、利用者としては県内7割、県外3割で、県外の多くは長野であるが、関東県や富山からの利用者もある。・・・との事であった。

利用実績(平成30年)としては、新潟東港の開設期間304日間(3月1日から12月29日まで)のうち、終日閉鎖が113日あり、利用者数17,592人で1日平均92.1人。直江津港は開設期間214日間のうち、終日閉鎖が102日あり、利用者数は16,502人で1日平均147.3人となったが、平成30年度の直江津港における事業収支では、収入額が約1,350万円、人件費など管理費支出額約1,400万円で、差し引き約50万円の赤字。・・・との事であり、利用者の伸びは天候に左右される事が多く、安定的な収益確保について考えていかねばならない。・・・との事であった。

所感

今回の現地視察において「直江津港第3東防波堤管理釣り場」及び「新潟東港第2東防波堤管理釣り場」となっている防波堤と、本市港湾部の立ち入り禁止となっている防波堤では、規模や種類(頂上部の広さや海面までの高さ等)が違う。・・・と、先ず感じた。

また、防波堤管理釣り場としての運営という事からすれば、管理運営主体(NPO法人ハッピーフィッシング)の安全管理が第一という具体的取り組みの実施状況や、視察中にもお孫さん達と一緒に入場される家族連れや県外からの釣り人がおられたにもかかわらず、管理運営(収益)という点において、気象条件が大きく左右する事など、視察してみないと分かりにくい点などを確認できたと感じている。

令和元年度 港湾振興特別委員会「静岡方面」視察報告

港湾振興特別委員会
副委員長 石黒 善隆

視察先：8月20日（火）由比港漁業協同組合
8月21日（水）清水港管理局

【由比港漁業協同組合】

～由比漁港におけるプール制等を用いた持続可能な漁業の取り組みについて～

新湊漁港で水揚げされる白エビと由比漁港のサクラエビは紅白エビとして、両漁港は友好姉妹漁港を締結している。由比漁港では昨年より不漁が続いており、漁を休むなど資源確保に向けた抜本的取組をしているのにも関わらず、サクラエビは増えていない。その由比漁港において、どのように持続可能な漁業の取り組みをしているのか視察を行った。

由比港漁協では、昭和52年からサクラエビ漁のプール制を導入している。プール制とは、全船で操業に当たり、水揚げ金額も全船均等に分配する方法である。このプール制は、由比港漁協単独ではなく、蒲原・大井川の漁業組合と合同で40年以上前から取り組んでいる。資源の保護や管理、過当競争の抑制、海上事故防止、経費の節減や労働時間の短縮などの利点があり導入している。

また、サクラエビという資源を保護するために、各漁場の魚体の大きさを調べ、小さい場合はその漁場では漁を行わないなどの対策を取っている。稚魚が減ると、その後世代に子が生まれないため、漁協一丸になってサクラエビの資源保護に努めていた。その他、商標登録するなどサクラエビのブランド化も推進していた。

不漁の原因としては、工業廃水などの水質汚染との因果関係が指摘されており、漁業組合青年部が海の底に溜まったヘドロ等を採取して調べていた。

所 感

由比港漁協では、サクラエビという資源の保護や漁業者間及び漁協間の過当競争を抑制するためにプール制を導入したとのことで、その制度自体は大変有効な手段であると感じた。しかし、近年は不漁が続いているとのことで、連日のように「駿河湾サクラエビ不漁」の報道があるため、漁業関係者は心を痛めていた。きれいな海を返してほしいとの漁協組合長の言葉は、漁師ではなくとも心から共感できた。

本市の新湊漁港においても、ホタルイカやベニズワイの漁獲量はここ数年減少傾向にある。新湊漁港においても白エビの不漁や水質汚染等は考えられることなので、今後の動向を注視していきたい。

【清水港管理局】

～ 清水港の釣り文化振興促進モデル港としての取り組みについて～

清水港は本年開港 120 周年で 1927 年には国際貿易港として国から国際拠点港湾に指定されている。全国の重要港湾の中で面積は 1 番小さく、その規模はコンパクトにまとまっており、さらにヤードを拡張したい計画がある。クルーズ船の寄港も年々増え、今年度は 40 隻を超えるという。我が射水市でもクルーズ船誘致に向けた取り組みを行っているが年に 1 度か 2 度と少なく、その経済効果はまだまだ未知数である。

国土交通省は 2019 年 3 月に「釣り文化振興促進モデル港」を指定して、その全国 13 港の中に清水港も含まれる。2003 年に海上メガフロート（大型浮体式海洋構造物）を浮かべた海釣り公園がオープンしたが、2011 年の東日本大震災に関連した福島第一原発の事故対応のため、海上メガフロートはなくなった。しかし地元からの要望もあり再整備を行う運びとなり 2023 年度中に 11 億かけて静岡市が整備するとのことであった。また、「日の出埠頭」において、年数回、釣り開放事業も実施していた。

清水港における釣り文化振興促進モデル港としての取り組みは、日の出埠頭における釣り開放事業を継続しながら、新興津地区で海釣り公園の再整備を進めている現状であった。その中で、日本釣り振興会とタイアップによる親子釣りフェスタなどのイベントも活用しながら、また、地元地域や関係業界との協力の下、地域に釣り文化を浸透させることに努めていた。

所 感

清水港では、釣り文化振興促進モデル港としての取り組みについて視察したが、釣り場を整備するには地形の問題、管理運営面の問題、費用的な問題、安全確保の面での問題など様々な課題をクリアしなければ難しいことが分かった。

今回の清水港については、元々大規模な釣り場である海釣り公園が存在していたことから地域的にも釣り文化が浸透していたように感じた。

清水港が再整備している海釣り公園のような大規模なハード事業は大変困難であると考えますが、埠頭で実施しているソフト事業の釣り開放事業については、本市においても実施することを検討できるのではないかと感じた。そのためには、マンパワーが重要であり、簡単なことではないかもしれないが、日本釣り振興会や地元釣り愛好者団体や業界関係者と市民・市・関係機関も力を合わせる必要があるように受け止めた。また、ハード面では、既存 4 カ所の釣り可能区域について、機能面の強化や設備の整備について具体的な検討も必要ではないかと感じた。今回の視察は、本市における釣り場整備の実現性について、客観的に判断するためにも、非常に有意義な視察となった。